

卓球大会に板橋区代表として参加して中国に行き、中国選手とチームを組むということも貴重な体験をすることができました。一緒に練習をしたり、試合をしたり、観光や食事もしました。たくさんの方が印象に残っていますが、その中でも、試合のことと中国選手と話したことについて書きたいと思います。

まず試合に関することです。大会当日は、中国選手のリーくんダブルスを組みました。試合の時は言葉も通じないのでジェスチャーをしていました。点を取ったとき、笑顔で「ナイス」と言ってくれたのがすごくうれしかったです。矢敗しても、「ドンマイ」などの言葉をかけ合ったり、コミュニケーションもしっかり取れました。最後の試合のときに当たった選手は、シングルスで初めて1セットを取った人でした。ドライブが上手くて、どこに返してもドライブで返してくる人でした。スマッシュも威力が強くて、ブロックしても止められませんでした。その試合は負けてしまいましたが、自分の中で一番実力が発揮できた試合だと思います。

次に中国選手と話した時のことです。観光のときは、中国選手の2人と日本語と中国語の数の教え方を教え合いました。2人は覚えるのがすごく早くておどろきました。食事会ときには、ショーの内容を英語で丁寧に教えてくれたり、いろいろな話をたくさんできてすごく楽しかったです。一緒に写真も撮りました。最後の石景山区の方との会食のときは、今までで一番中国選手の2人と話せました。初めて見る中華料理を何か聞くと丁寧に説明してくれたことが印象に残っています。

私はこの大会に参加してコミュニケーションの大切さや日本の大会では学べない技術などをたくさん学ぶことが出来ました。この経験をいかして、今まで以上に練習をして、もっと上の大会にいけるようにがんばります。